

NEWS

水戸医療センター広報誌

vol.101

2025.1

特集

クリスマスコンサートが開催されました
国立病院総合医学会の参加報告



場所：霞ヶ浦 撮影者：4階東病棟看護師長 青山 晶子

診療科紹介

正確で信頼できる検査結果を！

臨床検査科 臨床検査技師長
山田 晶

Doctor's Interview

消化器内科 医長

石田 博保

- 地域の医療機関のご紹介
- 診療科各科担当一覧表



独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター

TEL 029-240-7711

FAX 029-240-7788

〒311-3193 東茨城郡茨城町桜の郷280番地

<https://mito.hosp.go.jp/>





新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。令和7年の幕開けにあたり、水戸医療センターを代表してご挨拶申し上げます。

昨年は、1月1日の能登半島地震で幕を開けました。当院からは、国立病院機構医療班、DMAT、JMAT、金沢医療センターへの看護師派遣と多くの職員が断続的に災害支援に携わり多くの成果をあげました。翻って足元の水戸市の今後30年以内の震度6弱地震発生確率は80%と高く見積もられており（前橋市の10倍以上）、日頃からの備えを怠らず災害訓練を大切に、基幹災害拠点病院としての役割をしっかりと果たしていきたいと思えます。

医療面で昨年は、「患者・家族にも職員にも選ばれる水戸医療センター」をスローガンに活動を行っ

てまいりました。本取り組みは道半ばでありこのスローガンを継承しつつ、さらに本年は「救急医療」、「がん医療」、「地域医療支援」、「医療人材育成」の質の向上を図るよう取り組んで参りたいと思えます。医療の進歩や環境の変化に対応し、より一層の安心感と利便性をご提供できるよう、スタッフ一同、努力を重ねてまいります。新年が皆様にとって希望に満ち、健康で充実した一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。どうぞよいお年をお迎えください。



国立病院機構水戸医療センター
院長 米野琢哉

新任医師紹介

New Staff



脳神経外科 医師 阿久津 善光

獨協医科大学病院から参りました。地域の医療に貢献するべく頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。

正確で信頼できる検査結果を！

品質マネジメントシステム（ISO 15189）取得を目指して

臨床検査科 臨床検査技師長 山田 晶

臨床検査科では、血液や尿の分析、心電図検査や超音波検査、手術などで摘出した臓器の検査など多岐にわたり日々検査しています。

臨床検査には「検体検査」と「生体検査」に大きく分けられ、検体検査には検査材料や検査方法によっていくつかの分野があります。例えば、患者さんの尿、喀痰から細菌やウイルスなどを調べ病気の原因となる微生物を探します。また血液中に含まれる蛋白、酵素、脂質やホルモンなどを分析して健康の状態や病気の原因を調べる検査もあります。近年は遺伝子分野にも仕事の範囲が広がっており、記憶に新しいところでは、PCR検査による新型コロナウイルスの検査も臨床検査技師の仕事の一つです。生体検査では、外から見えない身体の内部状態を身体に専用機器をつけて測定しています。心電図検査や脳波検査では心臓や脳からの小さな電気信号を目に見えように波形として記録します。また超音波検査では、装置を用いて臓器や血管など画像として記録したりします。

当院は、救命救急医療・災害医療、がん医療を行っています。また地域に根ざした病院を目指しており、24時間体制で各種の臨床検査を実施しています。検査結果は、患者さんの病気の診断や治療に大きく影響するため、いつでも誰が担当しても正確な結果を出すことが求められます。常に正確なデータを依頼した先生に報告していますが、さらに高みを目指し、当検査室では、現在品質マネジメントシステム（ISO 15189）を取得す



る準備をしています。聞きなれない言葉とおもいますが、ISO 15189は臨床検査に特化した国際規格であります。臨床検査データの信頼性とそれを生み出す能力がある組織であるかどうかを第三者（認定機関）が評価し認定する制度です。すなわち、ISO 15189を認定されると国際的な品質基準を満たしているということが認められます。厳格な品質管理システムにより検査結果の正確性と信頼性が期待されます。採血から始まり、検査過程や結果報告につながる情報が公開され、患者さんが安心して検査を受けることができます。また働く臨床検査技師の教育や技術の向上をシステム的に取り込むことで、医療ミスや誤診のリスクを低減し、医療の安全性が向上します。

末筆になりますが、当院の基本理念である「私たちは地域の人々より信頼されるよう日々研鑽し、安全で良質な医療を提供します」をモットーにISO 15189の取得を目指し検査の質と信頼性を向上し、良質な検査結果が報告できるよう努めてまいります。

Doctor's Interview

消化器内科 医長

石田 博保

日本内科学会 総合内科専門医
日本消化器内科 専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会 専門医
日本肝臓学会 専門医・指導医
日本胆道学会 指導医



Q1

先生の得意とする疾患を教えてください。

石田Dr：当院では消化器内科のスタッフ数も多くないため疾患別の分担まではできておりません。そういった意味では、基本的には消化器疾患全般を診ております。当院の役割から消化器癌や肝胆膵疾患、炎症性腸疾患といったところが中心となっています。自分自身はもともと肝胆疾患を多くみていましたので、そういった領域が専門と思っています。

Q2

紹介して頂く際にこんな症状が出たらすぐ紹介してくださいなど、紹介時の着眼点などはありますか？

石田Dr：肝疾患に関しては、肝臓学会が2023年の総会において慢性肝疾患の拾い上げの活動として「奈良宣言」を発しています。これは「健診などでALTが30を超えたらかかりつけの先生を受診しましょう」という呼びかけです。そのような患者さんの中で、B型肝炎やC型肝炎ウイルスマーカー陽性の方、生活習慣病を合併し肝線維化の疑いがある方（血小板20万以下やFIB-4index 1.3以上）、アルコール肝障害疑いの方や原因不明の方などは、是非とも一度ご紹介ください。

Q3

症状が落ち付いて、開業医の先生方にご紹介する際に気を付けている事などありますか？

石田Dr：消化器癌の患者さんに関しては、術後の経過観察がメインの方などは、術前から御加療いただいている疾患の治療を術後もお願いしております。一方で、疾病・病状によってはこちらの外来で治療継続をさせていただくケースもあります。いずれのケースでも、外来診療等につきましてご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせいただきたいと思います。

Q4

ご紹介して欲しい症例などありますか？

石田Dr：消化器癌やその疑いのある方をご紹介いただければと思います。また炎症性腸疾患に関しては専門外来も行っておりますのでご相談ください。また、先ほどお話しさせていただいた慢性肝疾患とその疑いのある方をお願いします。

インタビューは以上になります。ありがとうございました。



クリスマスコンサートが開催されました

庶務係長 糸洲 正晃

当院内にてクリスマスコンサートが開催されました。患者様や職員の皆様に心温まるひとときをお届けすることを目的に、華やかな音楽の数々をお楽しみいただきました。

演目は、優雅なハンドベルの演奏を皮切りにチェロ四重奏の美しい響きそして壮大な管弦楽の演奏とどれも心に残る素晴らしい演目ばかりでした。会場内には、クリスマスの喜びと平和を感じさせる音楽が響き渡り、皆様に笑顔と感動を与えることができました。寒い季節の中、温かい音楽に包まれたひとときを過ごし、心癒される時間となりました。

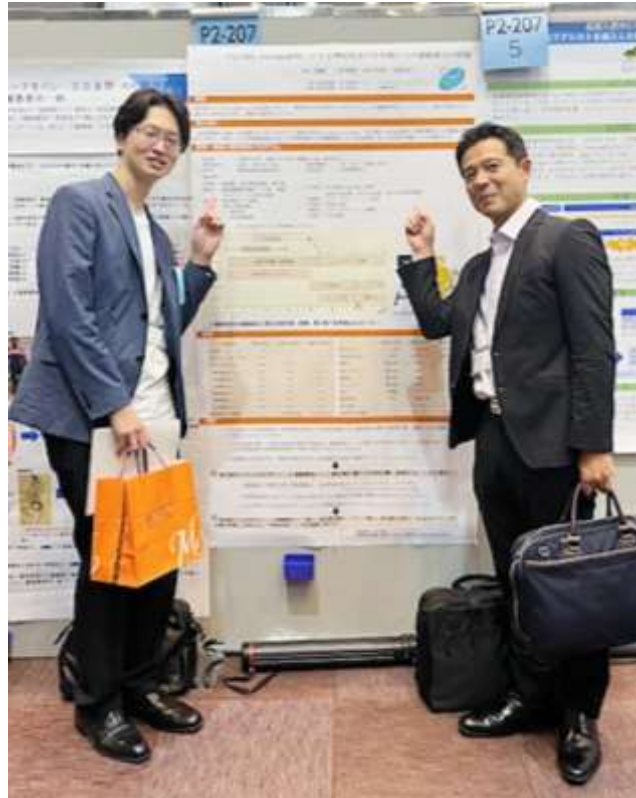
今後も患者様に寄り添い、癒しの場を提供できるよう努めてまいります。



第78回 国立病院総合医学会の参加報告

リハビリテーション科 理学療法士 井口 朋重

私は第78回国立病院総合医学会に出席してきました。学会ではギラン・バレー症候群への急性期からのリハビリテーションについてのポスター発表を行い、光栄なことにベストポスター賞を頂くことが出来ました。これも上司や同僚、他部署スタッフの方々の支えあってのことと思います。さらに会場では同じ志を持つ他病院のスタッフとの交流を通して自身の臨床業務や学術分野での大きな刺激となりました。引き続きこれからの医療の進歩に貢献出来るよう日々研鑽を積んで行きたいです。



5階東病棟 看護師 中山 舞

10月18日、19日に国立病院総合医学会に参加し、看護研究：テーマ「乳腺化学療法におけるインフュージョンリアクションを発現した患者の特徴について」を発表してきました。化学療法を施行する患者さんの副作用の発現リスクを明らかにすることで、今後の看護の質向上に繋がりたいと考えています。学会では、全国から看護師だけでなく、医師や多くのコメディカルの発表が集まっていたため、新しい知識や知見を得ることができました。今回、看護研究を取り組んだことで多くの知識を得て、自分への成長へと繋げることができ、有意義な経験となりました。また、嬉しい事にベストポスター賞を受賞することができました。ありがとうございました。





地域全体での感染対策 向上を目指して

感染管理認定看護師 岩島 知子

2012年の診療報酬改定を契機に、地域の医療機関同士の連携による感染制御の推進が重要視されるようになりました。

当院も感染対策向上加算1の医療機関として、加算1同士の相互評価や加算2・3および外来感染対策向上加算の医療機関との合同カンファレンス、新興感染症を想定した訓練など、近隣医療機関と連携し、地域全体での感染対策の向上に努めています。

昨年度からは、ICT（Infection Control Team）の専従者として、加算2・3の連携医療機関への施設訪問を行っています。担当者の方と一緒にラウンドや情報交換を行います



が、実際に何うとWEBでの合同カンファレンスではわからない現状が知れ、大変勉強になります。医療機関の役割や規模などで感染対策を進めるうえでの問題や困り事は異なる事もあり、より現実的なアドバイスにつなげていければと思っています。

地域全体での感染対策の向上を目指して、近隣医療機関と連携を深めながらできることを考えていきたいと思います。

出前講座での楽しく 刺激的な経験

理学療法士 幡谷 夏海

12月に「理学療法士による座ったままでできる運動」というテーマの出前講座を担当しました。大洗町の会場には、30名の方が足を運んでくださいました。序章として運動に関する説明をした後、実技パートでは座ったままでできるストレッチと下肢運動、応用編として椅子を支えてできる踵上げやスクワット運動を共に行いました。このような講演の機会は初めてで緊張しておりましたが、皆さんの積極的で熱心なご様子にすっかり緊張も解け、一緒に楽しく運動することができました。前半には脳神経外科の加藤徳之先生によるご講演があり、合計一時間半の長丁場となりましたが、最後まで会場は熱気に包まれていました。終了後には、「今日から早速この運動やってみるね!」「これなら続けられそう!」などと嬉しいお声かけをいただきました。

普段は入院中の患者さんのリハビリテーションを担当することが多く、今回のように地域の方と直接接する機会は貴重です。かねてより一次予防に興味のあった私にとって刺激的な日になりました。皆さんが分かりやすく取り組み



やすい運動になるよう、内容や流れを考える準備期間は有意義でした。参加者アンケートの結果を参考にし、より一層興味を持って足を運んでいただける講座にしていきたいです。

今年度、リハビリテーション科は他に3回の出前講座の依頼を受けました。講座の内容は、6月(茨城町)と10月(水戸市)は「転倒予防! 転ばぬ先の杖」、8月(水戸市)は「腰痛アラカルト 全身運動で腰痛予防!? 身体に負担をかけない身体作り」でした。

今後も院内のみならず、地域にも貢献できるリハビリテーション科として精進してまいります。よろしくお願いたします。



当院との医療連携登録医療機関

地域の医療機関のご紹介



医療法人桜ヶ丘 脳神経外科 ブレインピア 桜ヶ丘

(旧：桜ヶ丘クリニック)

院長 藤井 芳樹

[住所] 茨城県東茨城郡
茨城町奥谷1076

[電話] 029-292-1251



院長挨拶

2024年5月1日より、脳神経外科ブレインピア桜ヶ丘の院長に就任致しました藤井芳樹と申します。

杏林大学医学部を卒業後、大病院で10年、地域総合病院12年、脳神経外科専門クリニックで15年と、これまでの臨床で培ってきた知識と経験を生かし、この地域の皆様の脳疾患の治療と予防、また皆様の健康管理のお手伝いが出来ますよう、丁寧な問診と診療を信念として最善の努力をしてみたいです。

頭痛、めまい、しびれ、頭部の打撲など脳神経外科関連の症状はもちろん、生活習慣病の管理など一般内科の症状でご不安やお困りの際には、いつでもご相談ください。



アクセス
(公式ホームページ)

【診療科目】

脳神経外科
脳神経内科
リハビリテーション科
脳ドック

クリニック案内

MRI、CT、超音波機器、一般撮影、心電図、血圧脈波等を有し、生活習慣病（高血圧・脂質異常症）を主とした脳卒中（脳梗塞・脳出血、くも膜下出血）予防の診療を行っております。

水戸医療センターとの連携にて地域医療の充実を図っていきたく考えております。どうぞ宜しくお願い致します。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM 9:00~12:00	○	○	○	○	○	休	休
PM 2:00~5:00	○	○	○	○	○	休	休

川上医院

院長 川上 俊幸

[住所] 水戸市河和田町字高野坪862

[電話] 029-255-3791



院長挨拶

1991年当地水戸市河和田町に先代院長川上倭司が開院以降、地域の皆様をはじめ、県内外から多くの皆様に受診、ご支援をいただいております。2017年より川上俊幸が院長をつとめさせていただいております。高血圧症・糖尿病・脂質異常症などの内科疾患の管理から、発熱外来、また物忘れ・認知症・脳血管障害・パーキンソン病などの神経変性疾患に対応しております。

当院の治療方針

丁寧な診療、説明を心がけ、患者様に御納得頂ける医療を目指しております。精査、入院治療が必要な際は連携しております、総合病院へ御紹介を、させていただきます。



アクセス
(公式ホームページ)

【診療科目】

内科
脳神経内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM 8:30~11:30	○	○	○	○	○	○	休
PM 1:30~5:00	○	休	○	○	休	○	休



診療科各科担当一覧表

2025年1月7日～

2025年1月12日 作成

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
循環器内科		* 鮎澤 石井	* 横須賀 伊藤 小泉(午後)	* 石井 小泉	* 黒田 田畑	* 田畑 鮎澤	毎週月曜日13:00よりペースメーカー外来 (予約制) 新患は紹介状持参のみ
呼吸器内科		山崎 * 山岸	遠藤 * 太田	沼田 * 渡邊	遠藤 * 沼田 山岸	渡邊 太田	金曜日は再診のみ
消化器内科		* 伊藤 * 小野田	石田(予約) * 下山田 * 岸本	山口(予約) 伊藤 秋山(予約)	鈴木(予約) 伊藤(予約)	石田(予約) * 下山田 * 安部	水曜日は再診のみ 新患は紹介状持参のみ 木曜日の伊藤は予約のみ 鈴木は月1回第1木曜日に診察 秋山は月2回第2・4水曜日に診察
血液内科		交代医	* 米野 吉田(近)	米野 交代医	* 堤 * 吉田(近)	* 法岡 加村 交代医	火～金は新患対応可能 交代医は予約患者のみ
神経内科		田代 法岡	井岡	田代(予約) 相澤	田代 法岡	田代 相澤	火曜日は再診のみ 水曜日の田代は完全予約制
精神科		志賀 非常勤①	志賀		志賀 非常勤②	非常勤③	完全予約制 再診のみ
小児科		全 面 休 診					
消化器外科		武藤 宮澤 伊瀬谷	加藤(丈) 福永	加藤(丈) 成田(午前) 非常勤	福富 小林	米山 山本 福永(予約)	
乳腺外科		森 小坂		森 植木(予約)	橋本(予約)	森 小坂(午後)	水曜日の植木は予約のみ 木曜日の橋本は午前中(予約のみ) 金曜日の森は第3金曜日は午前・予約のみ
臓器移植外科		全 面 休 診					
呼吸器外科			稲毛(予約)			中村(亮)	
心臓血管外科		佐久間		相馬		佐久間 相馬	
血管疾患外科				担当医			
整形外科		江藤 小林	小川 森田(午後) 濱崎 江藤(予約)	小川(午後) 大山(午前) 上原	能見 平林 小林 奥脇	小川(予約)	完全予約制(火曜日は脊椎、金曜日は手・ 肘・肩の完全予約制) 木曜日の小林は偶数週のみ、奥脇は奇数週 のみ診察
形成外科			川口 櫻井(優)	松本 佐々木(予約)	佐々木 川口	交代制	水曜日の佐々木は乳房再建外来(予約制、 午後) 水曜日の松本は診察時間 14:00～15:00
リハビリ テーション科		小川	江藤	上原	江藤	小川	外来患者は直接行いません (整形外科に通院中の患者のみ) 入院患者の受付は毎日行います
脳神経外科		佐藤 交代制	小沼 交代制	加藤(徳) 丸山 安田	中村(和)	加藤(徳) 阿久津	安田は月1回第1水曜日に診察(脊髄疾患 中心)

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
皮膚科		*安重	*安重	*安重	*安重	*安重	アレルギー検査・生検依頼については予約要
泌尿器科		飯沼 市村 高橋(祥) 高橋(佳)	市村		飯沼 市村 高橋(祥) 高橋(佳)	飯沼 高橋(祥) 高橋(佳)	金曜日の高橋(佳)は奇数週のみ診察 金曜日の高橋(祥)は偶数週のみ診察
婦人科		全 面 休 診					
産科		全 面 休 診					
眼科		平塚 稲福	平塚 稲福	平塚 稲福	平塚 稲福	平塚 稲福	
耳鼻咽喉科		瀬成田 吉村	瀬成田 吉村	瀬成田 大山		吉村 大山	水曜日の午後は腫瘍外来のみ(予約制)
麻酔科		全 面 休 診					
歯科口腔外科		交代医	薬師寺(孝) 福本 高野	薬師寺(孝) 福本 高野	薬師寺(孝) 福本 高野	交代医	外来新患は火・木のみ(地域医療連携センター利用不可) 入院新患者は月・金のみ 周術期外来は月・金で予約制
放射線治療科		大川	大川 村上(午前)	大川 櫻井(英)(午後) 原田(午後)	大川	大川 大西(午前)	初・再診ともに完全予約制
代謝内科			高橋				入院患者のみ受診の際は診察日前に 連絡要当日の受付9:00まで
腎臓内科						白井	新患不可・紹介患者不可
緩和ケア内科					小林		新患不可・紹介患者不可

注 *は新来患者を診察する医師

注 (予約)は再診の予約患者のみの診察

※ 診療日時については、変更となる場合がありますので、予めご承知ください。

※ 当院は全科予約制となっておりますが緊急患者・他院からの紹介患者が優先になりますのでご了承ください。

受付時間	8:30~11:00 再来受付機 7:30~11:00 〈予約の方は予約時間まで〉
診療時間	9:00~



〒311-3193 東茨城郡茨城町桜の郷280
国立病院機構 水戸医療センター
TEL. 029-240-7711 (代表)





振り返ってみると令和6年は？

院長 米野 琢哉

令和6年も様々な出来事があった。気象災害面では1月1日の能登半島地震の発災。私も金沢駅を出たばかりの新幹線車中に閉じ込められ、24時間以上を過ごすこととなった。実家（福井）を出発する際に、名産のお菓子やお茶をカバンに詰め込んでいたので、それらを車中で消費しながら何とか乗り切る事ができた。読者の皆さんも長旅ではペットボトルや400kcal程度の食料を携行することをお勧めします。その後も8月には日向灘地震で南海トラフ地震臨時情報の発出、9月には再び能登半島での豪雨被害と災害が日常になりつつある日本列島である。災害に対しては日頃の備えが一番の対処方法で、当院も職員の努力で新たに危機管理部門を立ち上げ、11月に災害訓練を実施した。今後の訓練継続が重要である。

政治的には、国内・海外ともに国のリーダーを決める選挙が数多く行われ、日本をはじめいくつかの国ではトップが入れ替わることとなった。海外では戦争で多くの方が理不尽に死んでいく状況が続いており、リーダーの入れ替わりで少しでも状況が改善することを願わずにはいられない。

経済面では、モノの値段の上昇が実感されるようになった。総務省によると2020年の指数平均を100とすると2024年9月は108.2となったそうだ。米類は49年ぶり上昇幅とのことで、食卓にはかなりの打撃である。日本もインフレに入り、ゼロ金利・マイナス金利から金利のある世界に突入した。金銭管理の感覚もシフトチェンジしなければならない。

さて我々の医療面では、医師働き方改革がスタート。医師も一人の労働者として時間管理が細かく行われるようになりつつある。働き方改革の達成のためには、医療者自身の時間管理の認識、地域の皆様のご理解が欠かせない。管理者としては、あらゆる職種で多様な働き方を受け入れる柔軟性をもたないといけない。

歴史においては節目になる年がいくつかあると思うが、令和6年（2024年）は振り返ってみると諸事において節目になる年のように思う。令和6年を境に、人や世界が良い方向に進むことを願わずにはいられない。

募集

非常勤事務助手（医師事務作業補助者）

事務業務から、医療に関わる。
貴方の能力を当院で発揮しませんか？

【職種】 非常勤事務助手**【期間】** 採用日～年度末原則として年度更新を予定**【場所】** 水戸医療センター**【業務】** 書類作成、患者説明業務、データ入力、電子カルテ代行入力など**【資格】** 簡単なExcel・Word（ワープロ入力は必須）**【時間】** 8時30分（固定）～17時15分の間で6時間程度、週32時間、休憩30分～60分（規程に従う）勤務週5日**【休日】** 土・日・祝、年末年始**【給与】** 経験者（試用期間あり）

① 時間給 1,260円（外来業務経験有かつ有資格者）

※ 試用期間中は時間給 1,110円

② 時間給 1,210円（外来業務経験有または有資格者）

※ 試用期間中は時間給 1,110円

未経験者（試用期間なし）

時間給 1,110円 ※ 経験、資格等に応じて昇給あり

【待遇】 賞与年2回（74,400円／前年度実績）、交通費規定内支給、社会保険完備、制服貸与、育児介護休業取得実績あり、マイカー通勤可（駐車場あり）

応募方法

① 履歴書（様式自由）※ 写真を必ず添付すること

② 職務経歴書（任意）

を当院採用担当宛郵送してください。書類選考通過者のみ今後の選考について連絡いたします。

連絡先

〒311-3193 東茨城郡茨城町桜の郷280番
水戸医療センター 採用担当宛

TEL：029-240-7711

※ その他職種についても募集あり！詳細は当院HPをご確認ください。